

シュタイナーの 治療教育と芸術の持つ治癒の力 — 人間性の高みと魂の深みへ — II

第1回 「子どもと青少年の発達障害とそのとりくみ」

2016年6月19日(日)

午前

▶ 10:00 ~ 12:00

◎ 講義.....講師：江崎桂子

午後

▶ 13:30 ~ 15:00

◎ フォルメン線描.....講師：吉澤明子

▶ 15:30 ~ 17:00

◎ 健康オイリュトミー.....講師：石川公子

★実技のために、クレヨン(4色~8色)
オイリュトミーシューズか底の薄い室内履きをお持ちになり、動きやすい服装でおいでください

会場：平塚市民活動センター

参加費：各回受講 = 8,000 円

(3回ごとの)連続受講 = 22,000 円

(オーディオペーデ、後援団体の会員は 20,000 円)

対象：保育や教育現場で働く先生、保育者、
サポートする保護者の方々

(アントロポゾフィーの治療教育と芸術体験に関心をお持ちの方、実践への方向性を模索している方、
アントロポゾフィーの経験、知識は問いません。)

定員：40名

申込み締め切り：6月10日

混迷する現代にあって子どもたちをとりまく状況は、決して明るいものではありません。ましてや、そのような社会を映し出すように、発達障がいを抱える子どもたちは、ますます増える傾向にあり、保育や教育現場では対応に追われる現実があります。

発達障がいの子どもたちの支援はどのように行われることが望ましいのでしょうか。

また、子どもたちへの正しい理解と愛情あるまなざしをどのように私たちは身に付けていけばよいのでしょうか。

アントロポゾフィーの医学的観点なども学びながら、芸術の体験を深め、その治癒の力と子どもたちへの理解が教育者自身の力になるようにと願っています。

尚今回の講座は、2013年11月より一年半に亘って続けてきた連続講座の継続です。参加者の方々からのご要望で再開の運びとなりました。多くの方のご参加をお待ちしています。

申込み方法は裏面に記載

主催：「シュタイナーの治療教育と芸術体験」実行委員会(石川公子、竹田喜代子、吉澤明子)

共催：一般社団法人 アウディオペーデ

後援：日本アントロポゾフィー医学のための医師会・一般社団法人普遍アントロポゾフィー協会-邦域協会日本
一般社団法人日本シュタイナー幼児教育協会・そらいろの会(平塚市)

シュタイナーの治療教育と芸術の持つ治癒の力

— 人間性の高みと魂の深みへ — II

申込み方法

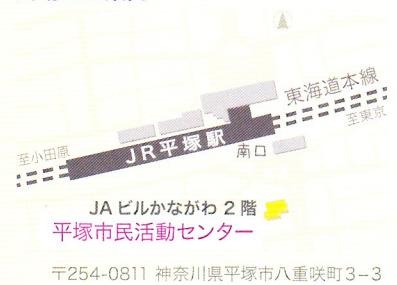
お名前、職業、住所、電話番号、メールアドレスを明記のうえ、メールまたはファックスにてお申し込みください。講座費用の振り込みをもって受講受付となります。(お振込みの返金は致しません。代理の受講は可能です。その際はご連絡ください。)

お支払いについて
右記郵便振替口座に
講座費用をお振込みください。

申込み先
一般社団法人アウディオペーデ
Fax : 046-240-9118
e-mail : audio-pd@nifty.com

支払い先 郵便振替口座名：一般社団法人アウディオペーデ
口座番号：00220-2-101127
他銀行からの振込み：
ゆうちょ銀行 店番：〇二九(ゼロニキュウ)当座 0101127

会場のご案内



今後の予定

*会場はいずれも平塚市民活動センター

第2回 8月14日(日) 「自閉症スペクトラム」

講師：江崎桂子、竹田喜代子、石川公子

第3回 10月16日(日) 「発達障がい児の強迫とうつ」

講師：塚原美穂子、吉澤明子、石川公子

第4回 12月11日(日) 「運動機能とその障害」

講師：志水祥介、前平加代子、石川公子

第5回 2017年2月19日(日) 「3歳までの成長の過程—運動や言葉、思考の発達について考える」

講師：小林啓子、吉澤明子、石川公子

第6回 4月9日(日) 「発達を支える感覚への働きかけ」

講師：江崎桂子、竹田喜代子、石川公子

講師プロフィール

江崎 桂子—治療教育家、薬剤師。娘の一人がダウン症であったことがきっかけでシュタイナー教育と出会い横浜で土曜クラスの運営に関わる。2001～2006年渡独。ヴィッテンのシュタイナー教育研究所にて治療教育を学び、帰国後、社会福祉士を取得。魂の保護を求める子どもたちとかわりながら。作業所利用者とのライアーやバイオグラフィーワークなどを行っている。現在八王子で仲間と共に教育とセラピーの場「アルテシア」を共同主宰。

塚原 美穂子—精神科医。1999年千葉大学卒。アルコール依存症治療、一般精神科臨床、企業での産業医学などに従事。2006年より国際アントロポゾフィー医学ゼミナール(IPMT)に参加。アントロポゾフィー看護、芸術療法と協働し、アントロポゾフィー医学の研究を続けている。

志水 祥介—内科医、神経内科医。これまで総合病院の神経内科専門医。指導医、僻地・離島医療の総合診療医、在宅医療の家庭医として、様々な医療経験を積む。現在、これまでの経験を集約し、精神科医療における身体診療の充実をテーマに精神科病院の内科医として、活動中。日本アントロポゾフィー医学のための医師会会員

小林 啓子—小児科医。小児科医専門医として非常勤にて一般病医院勤務。アントロポゾフィー医療実践のためにひかりのつぼみ自由クリニック開院。親子相互交流療法セラピストとしても活動中。シュタイナー学園校医、アントロポゾフィー医学のための医師会所属。米国ルドルフシュタイナーカレッジにて、アントロポゾフィーの基礎コースや教員養成コース受講。アントロポゾフィー医学認定取得申請中。

石川 公子—オイリュトミー療法士。1987年渡独後、治療教育、オイリュトミー、オイリュトミー療法の資格を取得。1999年帰国後、オイリュトミー療法士として活動。2008年より一年間、シュトゥットガルト近郊の医学ゼミナールに参加。現在、横浜を中心にアントロポゾフィー医学のクリニックにてオイリュトミー療法を実践する傍ら、健康オイリュトミー、バイオグラフィーワークなどの講座を行う。日本オイリュトミー療法士協会代表。

竹田 喜代子—シュタイナーの音楽教育者・音楽療法士。40年に亘り子供の音楽教育に携わる。シュタイナー学校の音楽教師をへて、2001年から、ヴィッテンのヴァルドルフ教育教員養成所と提携し、療法的音楽教育者養成を実施。2009年よりベルリン・ハーフェルビューへの音楽療法養成校とも提携、日本で最初のアントロポゾフィーによる音楽療法士養成を実施中。横浜を中心にクリニックなどで、音楽療法をおこなっている。その他、各地で講演活動を行っている。一般社団法人アウディオペーデ 理事長

前平 加代子—音楽療法士。幼稚園教諭1級・保育士・家庭教育相談員資格・認定心理士・日本音楽療法学会認定音楽療法士。シュタイナー教員養成課程修了・療法的音楽教育、養成ゼミナール卒業。シュタイナー音楽療法士養成コース卒業。現在、数箇所の施設にて障がい者の音楽療法および子育て相談・教育相談を行っている。

吉澤 明子—絵画造形療法士、画家、バイオグラフィーワーカー。1987～92年渡独。ヴィッテンのシュタイナー教育研究所及びヘルデック共同体病院にて芸術療法を学ぶ。帰国後障がい者施設や老人ホームにて療法を実践。現在東京、横浜、那須にて絵画クラスを持つほか個別の芸術療法を実施。ヴァルドルフ教員養成講座運営委員兼講師。Visio-paede (ヴィジオペーデ) 研修所主宰。